

# 11. としま鬼子母神プロジェクト

全国的な人口減少問題に先駆的に取り組むため、平成26年7月から出産前からの切れ目のない子育て支援を展開していく「としま鬼子母神プロジェクト」を開始した。すべての人が安心して子どもを産み育てられる社会を目指し、健康・妊娠・出産・子育ての支援を通じて母性を育み、乳児の健康の保持増進に努めるとともに、家庭の孤立化を防ぐなど、健全な育児環境の確保を図っている。

26年度は、「としまF1会議」の開催、「女性のライフプラン形成のための健康相談」、「としま育児サポート手帳」の配布とそれを活用した「としま育児サポーター」の派遣、「妊孕力啓発セミナー」の実施、「としま見る知るモバイル」の配信、「豊島区PRESENTSリトル・ママフェスタ東京2014」を開催した。

27年度は、5月に池袋保健所1階に女性のライフプラン形成や若者全体への健康支援に関する情報発信スペース「鬼子母神plus」を開設、改修工事を経て11月11日、リニューアルオープンした。また、7月より他区に先駆けて「ゆりかご・としま」事業を開始した。

豊島区では子育て世代の定着率が23区の中で最低水準にあり、出産などを機に区外へ転出する世帯が多く、子育て世代にとって住み続けやすいまちづくりをすすめることが課題となっている。

(注1) 正式な「鬼子母神」の表記は「鬼」の上のツノがない字体になるが、本文中では、「鬼」の文字を使用している。

(注2) 子育て世代の定着率：「3歳児健診対象者(a)」を3年前の「妊娠届出数(b)」で割った値(a/b)を算出し、これを妊娠届出提出後に3歳児健診まで区内に定着していた人の割合とみなしている。

## [1] としまF1会議

豊島区が23区で唯一“消滅可能性都市”との指摘をうけ、当事者である若年女性たちの声を“女性にやさしいまちづくり”に反映させるため、「としまF1」会議を立ち上げた。

平成26年7月19日に開催したキックオフイベント「としま100人女子会」を皮切りに、8月から12月の間に、6回会議が開催され、その提案が新庁舎での母子手帳交付、としま100人社長会、子育てインフォメーション・ナビゲーター、子育て総合情報スペースの設置等として、施策化された。

## [2] 女性のための専門相談 ～女性のライフプラン形成のための健康相談事業～

女性の健康で自分らしい生き方や、安心な妊娠・出産・子育てをサポートする総合相談を毎月1回実施。産婦人科医師・助産師・保健師・栄養士・歯科衛生士が個別相談に応じ、女性のからだのメンテナンス体操も行なっている。

□ 女性のための専門相談実績

(単位：人)

年度	区分	回数 (回)	相談件数						メンテナンス 体操	
			実人数	延人数	(内訳)					
					産婦人科 医師	助産師	保健師	栄養士		歯科 衛生士
26年度		7	35	75	23	27	8	7	10	35
27年度		12	46	87	35	14	11	19	8	28

□ 相談年齢内訳

(単位：人)

年度	歳	20～24	25～29	30～34	35～39	40～49	50～
26年度		0	13	8	10	4	0
27年度		2	3	21	17	3	0

□ 相談内容（内訳） ※重複あり (単位：件)

区分 年度	月経	婦人科 疾患	性感染症	不妊・ 不育	妊娠・ 避妊	女性特有 の ガン	産後の 体調	その他
26年度	8	7	0	3	11	0	8	2
27年度	21	9	0	3	11	0	3	12

□ メンテナンス体操

区分 年度	回数（回）	参加者（人）
26年度	7	35
27年度	12	127

(注) 女性の骨太健診時に実施P85参照

### [3] 母子保健情報の提供・育児サポート

(1) としま見る知るモバイル ～結婚から出産・子育て応援サイト～

平成26年9月1日から女性と子育てのための「としま見る知るモバイル」を配信している。

乳幼児の誕生日を登録すると、自動計算された予防接種の接種時期が事前通知され、健診やイベント案内も配信する。そのほか結婚、妊娠前、妊娠中の女性が知っておきたい情報を積極的に掲載し、匿名でメール相談も受け付ける。

(2) としま育児サポート手帳

乳幼児の健やかな成長と安心子育てを切れ目なく支援するためのツールとして、平成26年9月から、母子健康手帳交付時に別冊として配布している。両親からのメッセージに加え、祖父母や地区担当保健師・助産師等の支援者からのメッセージも記録できる。

(3) としま育児サポーター

「としま育児サポーター」として、助産師が赤ちゃん訪問後のフォロー等きめ細かな支援を行なっている。

□ 見る知るモバイル・育児サポート実績

区分 年度	見る知るモバイル新規 登録者数（件）	育児サポート手帳交付数 （冊）	育児サポーター訪問 （人）
26年度	1,111	2,817	37
27年度	1,628	3,000	41

### [4] ゆりかご・としま事業

妊娠期から子育て期までを見通した支援を早期に開始することによって、妊婦の健康増進、安全な出産、不安の少ない子育てにつなげている。また、母子保健部門と子育て支援部門が緊密に連携する「豊島区方式」により、虐待の早期発見のみならず未然防止を行なうことができる。妊娠届出時には助産師が「ゆりかご面接」を行ない、子育て応援グッズを贈り、出産後には保育士等が「おめでとう面接」を行ない、誕生お祝い品を贈っている。

また、妊娠期からの母乳育児支援のために、平成27年11月より、ゆりかご相談員（助産師）が母乳教室を実施している。平成27年12月より妊婦同士の交流やグループワーク、ミニ講座を通して産後の育児の孤立化を防ぐための教室をゆりかご相談員（助産師）が“ゆりかご・ふらっと”を開催している。

（事業実績は、P.107 10 母子保健[2]母子健康手帳の交付 参照）

## [5] 鬼子母神 plus ～池袋保健所・健康情報発信スペース～

池袋保健所1階に若い方々の誰もが、一生を通してこころもからだも健康に、また、結婚や妊娠・出産・子育て等のライフプランニングを自らの力で行うことを目指して、「鬼子母神plus」を拠点とした情報発信・相談支援事業を展開している。

### 【エイズ・性の健康エリア】

エイズ、性感染症に関する資料やLGBT等についての情報を収集・展示。

「エイズ知ろう館」の21年にわたる歴史をたどっていただける年表も作成した。

### 【月替え展示&トピックスエリア】

「トピックスコーナー」では、特に取り上げたいテーマ、「ベネッセコーナー」では、子育て雑誌や親子遊び絵本をそろえてキャラクターとともに季節感あふれる展示を展開している。また、「今月の本コーナー」では、くまざわ書店池袋店おすすめの本を書店員さん手作りのポップとともに月替わりで紹介している。

### 【若年者の健康エリア】

乳幼児期～高齢期までの健康課題をまとめた健康課題早見表を中心に、生活習慣病、メンタルヘルス、がん検診、栄養、歯と口腔の健康などの多様な健康情報を提供している。その他、子育て支援課（子育て情報）、男女平等推進センター（ワークライフバランス等）、生活産業課（女性としごと）等の情報も展示している。

## [6] 講演会・普及啓発イベント

### （1）啓発セミナー

妊娠は女性が直面する大きな健康課題であり、「妊娠する力」は女性・男性のどちらにも関わることである。産科医師等専門家による講演会の実施や骨太健診の機会をとらえて助産師がミニ講座を実施している。

#### □ 啓発セミナー実績

年度	区分	講演会（人）	講演会テーマ・講師
26年度		119	「知っておきたい妊娠のこと」10月11日（土） 国立成育医療研究センター 齊藤英和 氏
27年度		76	「いつかママになるために今、出来る健康管理」 こころとからだの元気プラザ理事・診療部長 小田瑞恵 氏
			「男性の生き方、からだところ～専門家に聴く～」 藤崎康彦 氏、大橋正和 氏

#### □ ミニ講座

年度	区分	ミニ講座（人）	講演会テーマ・講師
26年度		270	「女性の健康のために～知ってほしいこと～」 助産師・栄養士・歯科衛生士・保健師
27年度		433	

（※）女性の骨太健診時に実施P85参照

- （内容）
- ・（助産師） 知っていますか？あなたの心とからだ
  - ・（栄養士） 簡単クッキング～カルシウムを手軽に摂ろう
  - ・（歯科衛生士） 歯とお口からはじめるアンチエイジングの話
  - ・（保健師） メンテナンスできていますか？（運動、休養、節酒、禁煙）

(2) 子育て支援イベント「リトル・ママフェスタ東京2014」 合計 26,305人参加

(会場) 池袋サンシャインシティ文化会館4階展示ホールB

① 平成26年9月9日(火)・10日(水) 11,500人参加

(内容) 妊孕力啓発ミニ講座 20人、小児体験型AED講習会 100人

血管年齢測定 300人、乳がん自己触診法の啓発資材配布 200人

② 平成27年3月12日(木)・13日(金) 14,805人参加

(内容) 血管年齢測定 564人、乳がん自己触診法の啓発資材配布 200人

小児心臓マッサージ人形体験コーナー